

令和7年度 指定管理者の管理運営に対する評価シート

		施設番号		17
部	子ども健康部	課	子育て政策課	

1. 指定概要

施設概要	名称	北里こどもの家		建設年	平成26年		
	所在地	近江八幡市江頭町1014		利用対象	地域		
	設置目的	児童福祉法の規定に基づき、市内の小学校に通学する児童で保護者が労働等により昼間家庭にいないものに対し、授業終了後適切な遊び及び生活の場を与えて健全育成を図るため、放課後児童健全育成事業を実施する。					
	規模	延べ床面積 147㎡、階数 地上1階					
	指定管理開始年度	令和7年					
指定管理者	名称	一般社団法人おうみ育ちの家					
	所在地	近江八幡市江頭町1014					
指定管理業務の内容		①こどもの家の利用に関する業務 ②こどもの家の施設の維持管理に関する業務 ③その他こどもの家の管理に関し市長が必要と認める業務					
指定期間		令和7年4月1日 ～ 令和12年3月31日 （5年間）					
指定管理料		令和5年度：千円	令和6年度：千円	令和7年度：千円	令和8年度：千円（見込）		
利用料金制		採用している		選定方式	公募	応募者数	1者

2. 施設の設置目的の達成に関する取り組み【有効性】

		目標と具体的な取り組み(計画)	令和7年度実績	所管課による検証
施設設置の目的達成状況	施設の維持管理業務	①施設の維持管理及び整備 建物、施設の安全点検、修繕、除草作業等	①施設の維持管理及び整備 建物、施設の安全点検、修繕、除草作業等 日常的に施設内の清掃、備品等の点検を行っている。また、春過ぎから施設前庭での毛虫の対応に細心の注意を払った。	(よかったと評価できる事項) 児童の安全確保に努め、適切に施設の維持管理を実施した。
				(改善を要した事項と対応) 特になし
				(課題) 特になし
	(施設の運営向上策)	①利用者(保護者)との日常的な連絡、情報交換 ②利用料金の徴収 ③学校、保育所等との情報交換 ④利用者ニーズに応じた延長保育の実施、開所時間の延長	①利用者(保護者)との日常的な連絡、情報交換 連絡帳を用いて普段の様子や特記事項を伝えている。 ②利用料金の徴収 毎月徴収 令和7年度 6,556千円 ③学校、保育所等との情報交換 保護者の要望にや必要に応じて、小学校と連携を取っている。 ④利用者ニーズに応じた延長保育の実施、開所時間の延長 延長19時まで実施	(よかったと評価できる事項) 国基準や市のガイドラインに則り、事業が実施された。
				(改善を要した事項と対応) 特になし
				(課題) 特になし
	(提案内容の実施業務) 自主事業 その他の業務	なし		(よかったと評価できる事項)
				(改善を要した事項と対応)
				(課題)

施設設置の目的達成状況	(施設利用促進策)	対象児童の公平な利用の確保とサービスの向上を図る	・開設日数：259日 ・延べ利用者数：10,310名 ・平均登録児童数：55名	(よかったと評価できる事項) 国基準や市のガイドラインに則り、施設利用が実施された。
				(改善を要した事項と対応) 特になし
				(課題) 特になし

3. 効率性の向上に関する取り組み【効率性】

	前年度実績	令和7年度実績	(よかったと評価できる事項)
収支状況	指定管理料は0円であるが、施設の管理、事業の経費については、放課後児童クラブ運営費補助金を用いている。 <参考> ■収入 (16,645千円) 保育料等 6,912千円 補助金 9,733千円 ■支出 (16,645千円) 人件費 15,033千円 管理運営費 1,612千円	指定管理料は0円であるが、施設の管理、事業の経費については、放課後児童クラブ運営費補助金を用いている。 <参考> ■収入 (19,587千円) 保育料等 6,556千円 補助金 13,031千円 ■支出 (19,587千円) 人件費 16,920千円 管理運営費 2,667千円	市補助金交付要綱に基づき適正に運営された。 (改善を要した事項と対応) 特になし (課題) 特になし

4. 利用者の満足度調査等【有効性】

実施内容・時期	令和8年1月～2月中旬
評価頂いている内容	市のアンケートにて「保護者が支援員に対して、相談しやすい雰囲気がある」「子どもの状態を考慮して、おやつの内容や出し方に工夫がある」「子どもが生活の場として安心して楽しく過ごせる」などの項目に高い評価をいただいていた。他の項目も、市の担当課から高い水準であると評価いただいている。
苦情・意見等	特になし

5. 指定管理業務に関して、指定管理者から市への要望

小学校の管轄である児童クラブの前の桜の木は、梅雨明けから夏にかけて毛虫が大量発生し、施設の入り口であるみざらや窓、下駄箱に大量の毛虫が付き、保護者の方も寄り付けないほどになる。毎年駆除毛虫の薬を用務員の方が撒いてくださるが、異動が伴うと引継ぎが十分ではないため、可能であれば、被害状況について市からも小学校に対してお伝えいただきたい。
--

6. 指定管理者の自己評価コメント

出来る限りの清掃、管理を児童の少ない時間に行っており、施設回りの草刈りは用務員の方がいつもしてくださっていた。子どもたちの安全を考慮してフローリングにカーペットを敷くか迷っていたが、毎日洗えない為、ハウスタスタが原因で体調を崩す児童がいるという保護者の方の意見も参考にしてカーペットは敷かない選択をした。代わりに転んだ先の物が原因でケガをしないよう施設内で走ったりしないよう支援員全員で声掛けを徹底した。また、施設の修繕も工具を使い出来る限り管理者が行った。軒下をはじめ、蜘蛛の巣が張りやすいため毎日ほうきなどで取っていた。その他は窓ふきや床拭きなども行い、施設の清潔さを継続できるよう努めた。
--

7. 所属の総括コメント

国や市の基準に基づく事業運営がなされている。また、地域とのつながりを大切にした活動を取り入れる等の工夫や姿勢など評価している。引き続き、地域や小学校と連携を深め、支援員間で連絡を密にしながら、一段のサービス向上及び適正な施設の維持管理に努めていただきたい。
